

「高知家遍路道プロジェクト」補助金により

窪津鯨道の道標等の案内板を設置完了！

「日本歴史の道・100選」に選定されている金剛福寺道の遍路道は、「真念庵境内を含む遍路道」と「以布利港から窪津海蔵院までの遍路道」の2か所です。

特に、窪津の段丘上を通る山道を地元では「窪津鯨道」と呼んでおり、波の音と潮風を感じながら歩く修行の道になっています。今回この約3キロメートルの区間の11本の「丁石・指差し等の道標の説明板」を作製し、これを設置しました。

説明板の材質は、さびにくいアルミ製で打ち込み式になっています。お遍路さんが近世の往時を歴史を感じながら、修行の道をゆっくりと進むことができますようにと願っています。



「102丁」「95丁」丁石



明治37年建立指差し



「108丁」丁石・指差し



「109丁」丁石



「120丁」丁石



「121丁」丁石



「122 丁」 丁石



「123 丁」 丁石



鯨供養地藏台座指差し

中浜小学校2階「学校資料等収蔵スペース」に 遮光カーテンとスチールラック設置工事完了



昨年 11 月 16～18 日に高知市を中心に開催された公益財団法人日本博物館協会が主催する「第 70 回全国博物館大会」が開催されました。

この大会 2 日目の 17 日に「休校を活用した地域資料の保存と活用」とのテーマで土佐清水市教育委員会を代表し、市史編さん室・田村公利が、中浜小学校を拠点に行っている地域資料に関わる取り組みの事例報告を行いました。

この地域資料の保存の取組は、令和 2 年度から「高知県学

校資料を考える会」「こうちミュージアムネットワーク」「高知城歴史博物館」等の支援を受け、統廃合の学校資料や地域で散逸している資料を緊急的に休校中の中浜小学校の 2 階空き教室を活用し、保存していこうとする取り組みです。上の写真は、遮光カーテンとスチールラックを設置した際に撮影したものです。現在、『学校日誌』等の学校資料や地域資料を中性紙箱や中性紙封筒に保管し、スチールラックに集積作業中です。作業が完了した時にまた状況報告を適宜させていただきます。

【編集後記】

本年度も飛び去るように時が流れ、終わりました。市史編さん刊行までいよいよあと 1 年となりました。最後の最後までよろしくお願いいたします。